



株式会社西川貞三郎商店

オーストリアと日本の職人技の精華を集結

10 月 5 日に京都府庁旧本館で展示会



優れた職人技を紹介する世界最大規模のプラットフォームを運営するオーストリアのマイスターストラーセと京都の伝産企業が、10 月 5 日、国の重要文化財に指定されている京都府庁旧本館で展示会を開催します。両者のコラボ展示会は今年 4 月に続いて 2 度目。マイスターストラーセとしては、来年はウィーンに京都の伝産企業を招いて展示会を開くなどして、日本の伝統工芸品のメッカともいえる京都府とオーストリアとの経済・文化関係を強化したい考えです。

■ 開催経緯： 伝統工芸品の品目数、技術の優秀さの面でも日本有数の京都府との関係を構築するため、マイスターストラーセが 4 月 26 日から大阪関西万博のオーストリア館に展示する工芸品を 24 日に京都市内の登録有形文化財住宅で展示。この時、趣旨に賛同した京都の伝産企業も出展しました。京都との絆をさらに深めるため、マイスターストラーセ設立者であるラート夫妻が京都府・市に協力を仰ぎ、万博閉幕前の 10 月 5 日に 2 度目の開催にこぎつけました。



株式会社西川貞三郎商店

■ 開催日時： 2025 年 10 月 5 日(日)11:00～17:00

■ 開催場所： 京都市上京区藪ノ内の京都府庁旧本館。竣工は 1904 年で、創建時の姿をとどめる現役の官公庁建物としては日本最古のもの。2004 年に国の重要文化財に指定されています。

■ 主催・後援： 主催はマイスターストラーセと京都市の日吉屋、西川貞三郎商店。オーストリア大使館商務部、京都府と京都市が後援。

■ 展示内容： オーストリアと日本の卓越した職人による工芸品を展示。オーストリアの 9 社からは陶芸品、金属工芸、受賞歴のあるインテリアデザインと照明、LOBMEYR のジャンデリア、ファインジュエリー（高級宝飾品）、チョコレート、ワインなど。京都の 11 社からは京表具、かなアート、西陣の金襴、絞り、絹のグラスアートパネル、苔テラリウム、金箔、白檀ミスト、日本茶、京和傘、京焼・清水焼、NISHIKAWA JAPAN の茶器など。

■ 参加企業： 別紙に一覧表

■ 今後の展開： オーストリア側は、両国の豊かな工芸の伝統を紹介し合うだけでなく、双方の職人およびデザイナーによる新たな製品の共同開発を促進したい考え。来年は京都府の伝産企業をウィーンでの展示会に招待、翌 2027 年には京都でコラボ展示会を開催し、そこで両国が共同開発した製品を発表することも視野に入れています。

■ マイスターストラーセとは： ものづくりの伝統的な職人技の継承と産業振興、伝統とモダンの架け橋などを目指して 1999 年にウィーンで設立された職人工房のプラットフォーム。今では欧州を中心に世界各地の約5000の工房が参加。工芸品、宝飾品、食品、衣料、インテリア、素材等あらゆる分野の職人技を紹介している。

■ 問合せ先： 株式会社 西川貞三郎商店

・email: kayoko@t-nishikawa.co.jp ・電話:(075)541-5191